

科目名	情報通信工学実験Ⅱ	英文表記	Experiments of Information and Communication Engineering			2013/2/4	
科目コード	3203						
教員名:山田親稔、金城伊智子、長名保範(非) 技術職員名:佐竹卓彦、比嘉修、蔵屋英介、畑亮次					作成		
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科		3年	必	履修	2単位	実験	通年
科目目標	指導書に従って、実験を行うことができ、使用する機器類を効率良く操作することができる。実験結果に対する考察を与えることができ、フォーマットに従ったレポートが書ける。						
総合評価	指導書に従って、実験を行うことができ、使用する機器類を効率良く操作できることをプレレポート(20%)により評価する。実験結果に対する考察を与えることができ、フォーマットに従ったレポートが書けることを、提出されたレポート(80%)により評価する。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	指導書に従って、実験を行うことができ、使用する機器類を効率良く操作することができる。		⇒	実験前に作成したプレレポートにより評価する。	20%	
	②	実験結果に対する考察を与えることができ、フォーマットに従ったレポートが書ける。		⇒	実験後に作成したレポートにより評価する。	80%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	100	0	100	
基礎的理解	②			80		80	
応用力(実践・専門・融合)						0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲	①			20		20	
授業概要、方針、履修上の注意	情報通信に関する基礎的な電子デバイスの特性、電気回路、パルス回路、通信回路に関する基礎的な実験を行う。グループ単位で実験を行い、ローテーション実験を行いながら全ての実験を行う。毎回、実験を始める前にその実験に関するプレレポートを提出し、実験終了後レポートを提出すること。関数電卓、グラフ用紙、定規などは毎回持参すること。						
教科書・教材	「絵ときでわかる電気電子計測」(オーム社:1年次で購入済)、「LATEX2ε美文書作成入門」(技術評論社)、「レポートの組み立て方」(筑摩書房)						

